

大学院 Newsletter No.39 2025.4

世界で唯一の公益学の研究・教育拠点として

公益大大学院は新たな学びを実現します

春光輝く 2025 年 4 月、公益大大学院は 21 年目を迎え、公益社会の実現に向けた「学」と「社会」を結びつける改革をさらに進めていきます。社会が大きく変革している現在、生涯にわたり学び続けることの意義は高まっています。本学大学院では、皆さんの知的欲求に応えるため、学際的な研究と地域連携・社会連携に基づく実践的な学び、きめ細やかな支援を推進していきます。



入学式を挙行、そして2025年度始動！

4 月 5 日(土)、東北公益文科大学 公益ホール(大ホール)において東北公益文科大学・大学院入学式が挙行され、大学院は新たに3名(佐々木さん、須田さん、三浦さん)の入学者を迎えました。式典では、新入生を代表して佐々木さんが、『みんなが笑顔』こそ公益に繋がる。大学院に入学する私たちは、年齢も性別も経歴も様々ですが、この大学院で『公益学』を学び、よりよいまちづくりや社会に貢献していきたいという志は同じです。学びの場ではみんながフラットな関係性となるので、それぞれの個性を発揮し切磋琢磨していきたい」と入学の辞を述べました。



入学の辞:佐々木さん

3 月 29 日(土)に大学院ガイダンスを行い、4 月 7 日(月)からは授業もスタート。新年度が本格的に始動しました。



ご入学おめでとうございます！
新生活への期待に胸を膨らませている様子が見られました



「演習」では院生と教員が何を問題・課題として設定するか突き詰めていました



この日の「哲学」の授業のテーマはギリシャ哲学です
少人数での授業で理解度も高まります

